

様式1

令和4年度 半期・年度 事業評価書

評価対象期間	令和4年4月～令和5年3月
施設名	鳥取市河原町中央公園
指定管理者名	株式会社 風土資産研究会
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課名	都市整備部都市環境課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	4	書類・聞取り	利用者サービスの向上のため、計画以上の草刈り等維持管理作業が実施された。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類・聞取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	イベント時等に必要になるため、河原城の研修と合わせた接遇研修の実施
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか				
6 減免対象者は、適切に減免しているか			聞取り	減免対象者なし
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	書類・聞取り	地元まちづくり協議会と連携を図り除草などの維持管理を実施
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞取り・現場確認	河原城内各階にアンケート用紙を配置、1階で集計結果を掲示
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	聞取り	
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類・聞取り	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書類・聞取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	書類・聞取り	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	書類・聞取り	
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	書類・聞取り	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	聞取り	
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	聞取り	
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書類・聞取り	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書類・聞取り	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類・聞取り	

V. 施設運営に関する情報の公開				
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	書類・聞取り
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	聞取り・現場確認
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書類・聞取り
VI. リスク管理の状況				
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	書類・聞取り
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類・聞取り

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定 管理 者	<p>今年度も新型コロナウイルスの影響で、入館者数はコロナ前年比の66%減、入館料は45%減だが、前年度比では入館者数は3%増、入館料は28%増とわずかだが持ち直したが、自主事業・販売上げは18%減と引き続き減収だった。今年度もコロナの感染拡大は終息しなかったが、後半からはwithコロナで経済が大きく動き始めたにしては入館者数・入館料・自主事業の増が思うように伸びなかったのは、令和3年3月の土砂崩れによる侵入道路の全面通行禁止のため迂回路利用が大きく影響をしているものと考えます。来場者のアンケートや問い合わせからも分かるように、迂回路経由での来場がかなりの弊害になっているようです。</p> <p>中央公園の利用者も増加傾向には転じておらず、前年度比では0.7%増に留まった。(コロナ前年度比では61%減)だった。前年度同様に利用者が減少した分、管理経費(主にし尿汲み取り料)が大幅削減でき、収支としては黒字だった。</p> <p>河原城・中央公園で見ると、イベント等の中止やコロナ対策で参加人数の制限などで経費は削減され黒字となり一時的に自己資本比率、固定比率の数字は若干好転したが、企業全体としては厳しい経営状況は続いている。土砂崩れをした法面の工事期間が8月まで延長になったことを考えると、次年度も来場者数の拡大を臨むには今まで以上に相当の営業努力を行わなければ、一転収支のバランスが悪化するものと予想します。</p>
施設所管課	<p>新型コロナウイルスや迂回路利用の影響がありますが、企業努力により安定的な経営に努めていただくようお願いします。</p>

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定 管理 者	<p>◆河原町中央公園及び河原地域の魅力を情報発信できる企画の実施。</p> <p>◆今年度は年度初めに若干新型コロナウイルスの感染拡大が収まるかに見えたが、やはり夏に向かって全国的な急拡大が起こり、これまでの最大の感染者数を記録し深刻な状況が続いたが、後半から以降は感染対策もしつつ経済活動を重視した様相を呈し、予定していた事業も後半から以降は感染対策を万全にして開催できた。</p> <p>◆次年度へ向けての新企画(体験観光・特産品・観光商品開発)の準備を河原町内外と連携。</p> <p>以下は中央公園関連の主な自主イベントの状況。</p> <p>◆イベント ◆チャリティー募金・戦国甲冑大試着体験会(9年目)は中止。 ◆かわはら七夕まつり(14年目)河原城及び中央公園の来訪機会拡大の為に毎年開催。開催期間7～8月(お盆まで)町内の幼稚園、3小学校・福祉施設の協力で開催。 ◆体験観光は5割程度中止・延期。開催時は感染防止対策を万全にして規模も縮小して実施。中央公園内の梅林公園を活用した「梅の収穫とカリカリ梅づくり」は人気があり、定員はすぐ埋まりキャンセル待ちが多かった。 ◆商品開発については、収穫体験がきっかけで始まった廃棄処分の農作物を利用した取り組み「フードロス・プロジェクト」や、今年も梅を活用した加工品を作った。次年度こそは商品化と販路開拓を実現したい。 ◆元旦初日の出行事(16年目)は、感染の影響で中止。 ◆節分・豆まき行事(12年目)大雪のため、内容を変更して開催。</p> <p>◆地域振興については、体験観光、トレッキング、ガイドウォーク、バスツアーなどは新型コロナの影響で5割程度の実施率だったが、美化・保全活動など地域の協働作業はほぼ例年並み。町内の催事運営協力はまちづくり協議会等や商工会等に協力し、特にあゆ祭り(第41回大会)は中止になったが、サプライズ花火の開催の企画・制作・広報・印刷物デザイン・準備・運営・その他等で参加。(実行委員会参加14年目)。また、「子供あゆ太鼓」は前年度同様、3小学校の総合の時間で指導(あゆ祭りは中止になったが、学校の要望で各校の太鼓発表に合わせ6月～11月まで3小学校4年生へ、中学生1年生には「若鮎太鼓」を指導をした。</p> <p>学校教育協力では、河原中学校1～3年生の総合学習時間で、郷土史・文化・くらし・自然などの外部講師として授業をした。また、毎年恒例の河原地域教職員夏季研修の代替研修として、リモートで郷土史講習会を実施した。</p> <p>周辺施設・行政・商工会等や民間団体との事業運営などの連携体制も、やはりコロナの影響が大きかったが、前年度よりも若干活動ができた。特に山陰海岸ジオパーク南部地域エリア拡大の活動についてはイベントの開催や「ふるさとリーダーアカデミー」との共催・各地域のガイド団体との連携など、前年度よりもかなり具体的に前進できたように感じる。地域の魅力発見・魅力づくり・情報発信などの活動の一環として、次年度も進めていきたい。</p>
施設所管課	<p>今後も利用者拡大に向けた自主事業に期待します。</p>

4. 総括コメント

1. 利用者について…今年度は新型コロナウイルスと迂回路の影響で河原城への来場者は前年度同様に伸び悩んだ。所管課に設置して頂いた案内看板も何らかのもう一つ工夫をしなければ、見逃してしまう来場者が多発している。広報の一層の強化も必要だと感じる。また、接客等の工夫や特別展示・イベントの内容などで来訪者増加の対策を進めたい。散策・休憩などの憩いの場としての目的利用として、河原城来場者の中央公園利用（主に散策など）の割合は、僅かながら増加している。しかし、幼稚園・小・中・高校の遠足や課外授業等での利用、施設（公民館・福祉施設等）の利用は、前年同様減少している。その他、公園を利用したイベントなどは感染防止対策を万全にし開催できた。

今年度も年末から2月までの期間中の大雪で、散策道や植栽が大きな被害を受け、被害木の伐採・処分等に経費がかかったが、利用者減少に伴い管理経費（主にし尿汲み取り料）が削減されたので、補うことができた。今後の利用者の拡大を図るためにも中央公園の植栽の整備は不可欠であり、特に梅林公園・散策道の整備は前々から所管課に相談していたものなので、引き続き協議を重ねていきたいと思います。また、駐車場のトイレの身障者用設置の声が大いなので（福祉施設の利用が多い）、引き続き所管課に相談をしていきたいと思います。その他、利用者アンケートの公園に対する要望は前年度とほぼ同じで、設備等の設置や改修・公園内の植栽・侵入道路の整備・散策道の修繕・整備、遊具やベンチの設置など。特に今年度多い回答は、谷一木の侵入道路の改修工事の早期完了と迂回路の早期整備について、来場者だけではなく地域住民からのクレーム（他府県ナンバーの車が部落内へ迷い込み、通行の妨げやコロナ感染の心配等や、来場の際の不便さと危険度など）も多く、丁寧な説明と対応でご理解を頂きました。次年度も同様に所管課・支所等と協議・ご支援を頂きながら、来場者・地域住民へ最大限の対応をしていきたいと思います。一日も早く地域のコミュニティー・憩いの場として安全・安心・快適に利用していただけるように、引き続き感染拡大防止対策を実施しながら、維持・管理に努め、サービス向上を図って行きたい。

◆継続イベント：「かわはら町・春フェスin河原城」（旧イベント名：日本赤十字チャリティーイベント河原城 春の大茶会27年目）と秋の月見会は、新型コロナウイルスの影響で中止。

2. 除草作業について…年10回（4月～10月まで）の実施。近年の集中豪雨や台風・大雪などの影響か、公園内の法面の崩落が多く見られる。除草作業中の安全を考えて、補強について所管課に相談したい。草刈り以外の植栽整備は今年度も主に梅の枝打ち（剪定）などを実施。

◆雑木の伐採は中央公園の景観（主に、雑木が茂り河原城が隠れて見えない）改善の為、H30年度に単年度で予算化され実施されたが、まだ3本残っている。雑木の成長が早く定期的な伐採、または剪定をしたい。また、迂回路側の雑草や樹木の整備については、中央公園の敷地内においては経費削減の為に河原城スタッフが除草作業・雑木の刈り上げ等の対応をしている。しかし大半が公園外の土地で整備をするのが難しく、また年内中、水道工事やその他土木工事・土砂運搬の大型トラックの通行が激しく来場者の一般車両や観光バス等の通行・すれ違い時の安全確保のために、次年度以降は所管課・支所等のご支援をお願いしたいと思います。

3. 散策道について…今年度も予算が付き、遊歩道を修繕して頂きました。毎日の散歩コースの地元住民や、梅見客からは喜ばれています。散策においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策・注意喚起を徹底したので、利用者の安全・安心を確保できた。引き続き次年度以降もお願いしたいと思います。

4. 梅林公園の景観の向上について…今年度も台風・集中豪雨・風害・雪害などの天候で、公園内の樹木は大きな被害を受けた。例年の立ち枯れ木に加え、被害木の伐採・撤去等を「河原町有志の会」に依頼しているが、先述のとおり法面の急こう配や崩落などで危険箇所が多く、また高所での作業は難しく、安全面を考えると専門業者に依頼したいところだが、経費に余裕がないため「河原町有志の会」と河原城スタッフが協力して出来る範囲の伐採・撤去等を行った。（危険場所の被害木は一部そのままの状態。）やはり景観保持のためには、専門家の手入を必用としている場所が多い。H2年度から実施している公園内の体験観光（梅の収穫・加工）は大変評判が良く、数度の開催を希望する声があるが、現状では安全面に大きな不安があり、また剪定等の整備が行き届かない木が多く、梅の実の出来も年々悪くなっている。景観面でも根本的な整備を必要としており、次年度こそは「梅林公園」の再生について相談・協議を是非お願いしたいと思います。

5. その他…1. 2. でも記入しましたが、谷一木正面侵入道路の全面通行禁止による迂回路利用が2年以上経過し、今年3月に工事完了予定を心待ちにしていたが、8月まで延長が決まり、来場者・地域住民から落胆の声は大きい。理解は得られているものの、諸事情で周知が行き届かない部分やご理解を得られていない部分がある。出来る限りの周知活動・ご案内を続け、また体ねんな説明・対応を引き続き行うが、8月の工事完了を期待している。また、利用者の利便性や安全性の為に迂回路案内看板等の増設等にご支援を頂きたいと思います。今年度も大雪被害が大きく、迂回路の除雪も昨年以上に困難になっていたため、1日も早い工事完了を期待している。年間を通して様々な来場者（観光客・地元利用者・散策道から進入する徒歩利用者、その他）について、全面通行禁止と危険行為の注意喚起、迂回路利用の案内と利用状況の聞き取り調査等を徹底して、利用者の安全確保に努めた。

◆迂回路の除草について…今年度は指定管理区域外については予算的にも人員的にも余裕がなく、プラスαが難しかったが、利用者の安全性・利便性の確保のためにも次年度は所管課・支所等にご協力をお願いしたいので、引き続き、相談・協議をお願いいたします。

◆まとめとして、今年度も新型コロナウイルスに加えて迂回路利用の影響で厳しい年になったが、コロナ禍においても事業の一つ一つに誠実に取り組んだ結果が、少しずつだが現れてきていることを感じる。少しでも来場者拡大につながる為に出来る限りの対策を考え、河原町中央公園及び河原地域の魅力度アップの取り組みに注力し、次年度への備えを進め、地域のコミュニティー・憩いの場として安全・安心・快適に利用していただけるように維持・管理に努め、サービス向上に図りたい。

施設所管課	進入道路の通行止により公園利用者が来場しにくい状況になっていますが、引き続き適切な維持管理に努めていただくをお願いします。
確認方法	書類、聞き取り、現地確認
評価区分	4 求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3 求める管理水準が適切に実施されている
	2 求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1 求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0 求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている

【資料2】

施設名 河原町中央公園

1. 施設利用者数

項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
大人	12,000	3,030	5800	3605							
小人	3,200	1,349	1700	1068							
公園利用者	14,800	6,461	7500	6510							
合計	30,000	10,840	15,000	11,183	0	0	0	0	0	0	

2. 事業収支

項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
指定管理料(公園)	2,852,000	2,852,000	2,852,000	2,917,265							
収入計(A)	2,852,000	2,852,000	2,852,000	2,917,265	0	0	0	0	0	0	
(公園管理費)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
支出計(B)	2,852,000	2,852,362	2,852,000	2,560,038	0	0	0	0	0	0	
事業収支A-B	0	-362	0	357,227	0	0	0	0	0	0	